

町税は口座振替で！

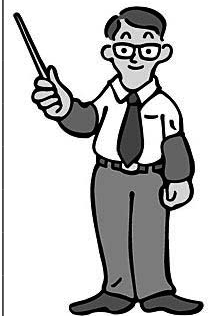
税金は、私たちが豊かで安全な暮らしが出来るよう警察や消防、保健衛生や教育などの公共サービスや、道路や橋、港湾や上下水道などの公共施設の整備・充実に充てられています。私たちが社会の一員として暮らしていくために、みんなで出し合っ

て負担しているのが税金です。税務課では便利で安心、確実な口座振替制度のご利用をお勧めしています。口座振替を利用される方は、紀州農業協同組合、なぎさ信漁連、紀陽銀行、きのくに信用金庫、近畿労働金庫、ゆうちよ銀行の各金融機関窓口で口座振替される通帳と届出されている印鑑をご持参のうえ、お申し込みください。口座振替依頼書は、税務課窓口および各金融機関窓口にてご用意しております。

※口座振替の受け付けは金融機関窓口のみです。税務課窓口での受け付けはしておりませんのでご注意ください。

町県民税・所得税申告相談 日程表

月日	曜日	地区名	受付時間	会場
2/16	火	原谷	午前9時 ～午後4時	日高町役場 (3階大会議室)
2/17	水	池田		
2/18	木	小中		
2/19	金			
2/22	月	萩原		
2/24	水	荊木		
2/25	木			
2/26	金			
3/1	月	高家		
3/2	火	小杭・柏・上志賀		
3/3	水			
3/4	木			
3/5	金			
3/8	月			
3/9	火	下志賀		
3/10	水	谷口		
3/10	水	比井		
3/11	木	津久野・小坂・小浦・方杭・産湯		
3/12	金			
3/12	金	阿尾・田杭		
3/15	月	町内全地区	午前9時～午前11時	



新型コロナウイルス感染症に関する令和3年度分の固定資産税の軽減措置について

新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年2月から10月までの任意の連続する3か月間の事業収入が前年の同期間と比べて、30%以上減少している中小事業者等が所有する事業用家屋及び償却資産について、令和3年度分の固定資産税の課税標準額を軽減することが出来ます。

・ 申告期間

2月1日(月)まで

詳しくは、税務課(☎63・3802)まで

中学生の「税」についての作文

最優秀賞

【国税庁長官賞】

【日高納税貯蓄組合連合会会長賞】

「私達の暮らしを

支える「税」

日高高等学校

附属中学校2年

寺井 巴菜



連日、新型コロナウイルス関連のニュースが報道されている。世界中にこの感染症が広がり、大変な事態となっている。私達は、三月から休校となり、約三ヶ月間、不要不急の外出を避け、自宅での自粛生活をした。その期間、テレビや新聞を見聞する機会が増え、その中でも「税金の使われ方」に、日本国民が注目したのではないだろうか。私も、その中の一人である。

まず、大きく税金が使われた事は、布製のマスクの配布だ。各世帯に二枚配布され、私達の中学校では、二回配布があった。使い捨てマスクが一時品薄になり、洗って再利用可能なマスクはとても有難かった。しかし、賛否両論の声が寄せられた。サイ

ズが合わない等の理由でマスクを使わない人がいる。市町村などで回収ボックスが設置され、使わない人が寄付をし、必要としている人のもとに配布されたのである。今でも深く心に残っている事だ。その後、全国民に一人あたり一律十萬円の現金給付があった。どちらも「税金」が使われ、私達に届く。改めて「税」の凄さを感じ、感謝の気持ちでいっぱいになった。

税金が大きく使われたのは新型コロナウイルスに関してだけではない。令和二年七月豪雨があり、熊本県を中心に甚大な被害があった。日々の生活の中で、何が起きるかは予測不能だ。救助隊の方々のお陰で助かった命がたくさんあると思う。被災地の方をニュースで見た時、本当に心が詰まる思いになった。被災地への物資や再建、復興に税金が少しでも多く使われて欲しいと強く願う。

また、私の出身校では、隣の地区の小学校と統合する事が決まり、増築、改修工事が現在、進め

られている。運動場に仮校舎が建てられ、一定の期間児童はその仮校舎で授業を受けるそう。校舎が綺麗になるのは、とても嬉しい。新しい校舎に通える児童はもっと嬉しい事だろう。そして、その工事にはたくさん税金が使われている事を決して忘れてはならない。

このように「税」は私達の暮らしになくてはならないものだ。その莫大な費用は、国民が納めた「税」である。だからこそ、どのように使われたのかは知っておくべきだと思う。日々の社会問題について関心が薄い人は多いように感じる。「税」についても、一度学習し、知っている事や理解した内容であっても、より理解しようという気持ちが大切である。今、日本は少子高齢化が進み、これから先、税を納める働き手が減っていくと予想される。私達がどのような未来を築いていけるのかは分からない。よりよい未来、よりよい暮らしを「税」がつかないでくれるのだと信じて。